

令和6年度 江戸川区立一之江第二学校 人権教育 年間指導計画（第2学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
学級経営	人権教育の目標に関わる学級の目標を設定する。		自分の大切さを認めることを中心とした指導		他の人の大切さを認めることを中心とした指導			互いの大切さを認めることを中心とした指導					
各教科・読書科	国語科「つづけてみよう——日記」 積極的に、経験したことや思ったことなどから書くことを見つけてよし、学習課題によって、日記を書いて友達と読み合おうとしている。	生活科「町探検」 自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人や様々な場所とかかわっていることが分り、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。	生活科「生きものなかよし大作せん」 動物を飼ったり、植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気づき、生き物の親しみをもち大切にできるようにすることができるようにする。	国語科「うれしくなる言葉」 言葉が表す意味と、その言葉にこめられる気持ちについて考え、話し合う。	国語科『町の「すてき」をつたえよう』 生活科の町たんけんで見つけたことやわかったことをもとに、自分の思いや考えが明確になるように事例の順順にそって簡単な構成を考え、町のすてきを伝える文章を書く。	生活科「町探検」 自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人や様々な場所とかかわっていることが分り、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。	国語科『町の「すてき」をつたえよう』 生活科の町たんけんで見つけたことやわかったことをもとに、自分の思いや考えが明確になるように事例の順順にそって簡単な構成を考え、町のすてきを伝える文章を書く。	生活科「町探検」 自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人や様々な場所とかかわっていることが分り、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。	国語科「アラクサンダーとぜんまいわづら」 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。文章の内容と自分の経験を結びつけて、自分の思いや考えをもち、発表しようとする。	生活科「あしたへジャンプ（自分づくり）」 自分自身の成長を振り返り、多くの人々の支えにより自分が大きくなったこと、自分ができるようになったこと、役割が増えたことなどが分り、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつとともに、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活することができるようにする。	体育科「ボール遊びゲーム」 運動に進んで取り組み、決まりを守り、仲良く運動したり勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。		
特別の教科 道徳	正直、誠実 素直な気持ちでいることの大切さに気づき、素直で明るい気持ちを大切にしようとする心情を育てる。	よりよい学校生活、集団生活の充実 周りにいる人々と楽しく学校生活を送るために大切なことに気づき、みんなと楽しく遊ぶためにはどうしたらいいかを考え、実行しようとする実践意欲と態度を育てる。	友情、信頼 自分の思いだけでなく友達の気持ちも考えて行動することの大切さに気づき、互いの気持ちを理解しようとしながら接しようとする実践意欲と態度を育てる。	公正、公平、社会正義 人によって態度を変えないことの大切さに気づき、誰に対しても公正、公平な態度で接しようとする実践意欲と態度を育てる。	親切、思いやり 他者に対して思いやる行動を取ることに素晴らしさに気づき、温かい心ですすんで他者に親切にして行こうとする心情を育てる。	規範の尊重 約束や決まりの大切さに気づき、みんなが使うものやみんなのもの大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	感謝 日頃からお世話になっている全ての人に感謝の気持ちをもつことの大切さに気づき、日常生活の様々な場面での感謝の気持ちを表そうとする実践意欲と態度を育てる。	勤労、公共の精神 自ら働くことの楽しさや良さに気づき、すすんでみんなのために働こうとする実践意欲と態度を育てる。	家族愛、家庭生活の充実 自分ができることをすすんで行うことで家族の役に立てることに気づき、家族の一員としてできることをしようとする実践意欲と態度を育てる。家族の愛情に気づき、家族に対する愛情を一層深めようとする心情を育てる。	感謝 家族などの日頃お世話になっている人々に感謝の気持ちを伝えることの大切さに気づき、感謝の気持ちを表そうとする心情を育てる。	個性の伸長 友だちのよいところについて考えることを通して、自分のよいところに気づき、そうしたよいところを伸ばそうとする心情を育てる。	よりよい学校生活、集団生活の充実 学校のみんなとの関わりを深めることで学校生活を楽しくしていることに気づき、学校生活を自分たちで楽しくしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	親切、思いやり 相手のことを考え、親切に、温かい心で接することの良さに気づき、すすんで親切をしようとする心情を育てる。
特別活動	1年生を迎える会 1年生に歓迎の気持ちを伝える。		6年生を送る会 6年生に感謝の気持ちを表す。										
その他	いち・にの・くれよん（保護者ボランティア）による読み聞かせ												
	保護者会 個人面談 家庭と連絡を取り、児童の実態を把握する。	保護者相談日	保護者会	保護者相談日	道徳授業地区公開講座 道徳教育の取り組みと大切さを伝え連携をとる。	個人面談 家庭と連携を取り、児童理解を深める。	保護者相談日	保護者会					

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導 =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。